



# 2024年12月期第1四半期 決算説明資料

FIG株式会社 2024年5月14日





# FUTURE INNOVATION GROUP



商号 FIG株式会社 (Future Innovation Group, Inc.)  
 設立 2018年7月2日  
 ※グループ前身のモバイルクリエイト設立は2002年  
 代表者 代表取締役社長 村井 雄司  
 所在地 大分県大分市東大道二丁目5番60号  
 従業員数 774名 (2023年12月末現在連結)

マシーン	IoT					
	主要3社					
 REALIZE	 モバイルクリエイト	 ケイティーエス	 オプトエスピー	 ciRobotics	 プライムキャスト	 CAOS
孫会社 (国内: 3社、海外: 3社)						

## IP無線システム



携帯インフラを活用したIP無線システムのパイオニア。主力の車載タイプに加えて、防災市場ではハンディタイプが好調でLINE連携も展開。

## タクシー配車システム

タクシー配車システム、車載端末はタブレット化でメーターと連動。配車室受託が好調で、ユーザー向けLINE配車もサービス開始。



## ペイメント

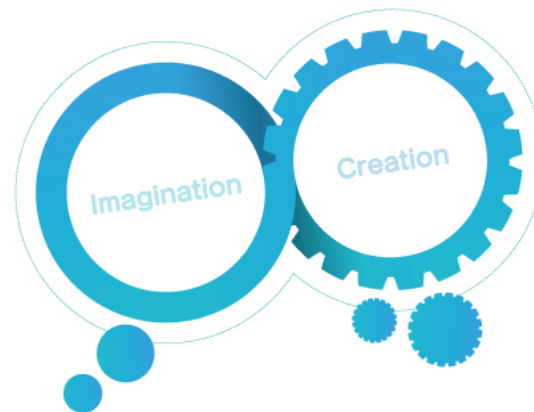
得意とする公共交通を中心にペイメントサービスを展開し、高いセキュリティ基準であるPCIDSSも取得。沖縄本島IC乗券システムのOKICAは、商業拡張をスタート。



## バスロケーションシステム



バスの経路や乗り継ぎ検索、接近情報などをバス利用者へ提供。バスロケーションシステムでは、国内トップレベルのシェア。デジタルサイネージや混雑情報システムなども展開。



## 半導体・自動車関連自動化装置

自動車部品を製造する装置を開発から設計・製造・組立・販売・サービスまでトータルで手掛け、メーカーとして高い評価を得ています。



## ホテルスマート化



ビジネスホテルやシティーホテル向け客室のマルチメディアシステム、リネンシステム（客室清掃管理）や施設混雑案内システムなどIoTを活用しています。

## ロボット



マップデータを元に走行を行い、マニピュレータが人の代わりに作業を行います。ロボットシステムインテグレーターだけでなく、自社オリジナル搬送ロボットも開発。

## ドローン



産業用ドローンの開発・販売を行っています。ドローン活用における省人化の実証実験にも参画しています（ドローン宅配・スマート農業・血液検体の輸送など）。

- 01 | **2024年12月期第1四半期決算概要**
- 02 | **事業ポートフォリオの見直し**
- 03 | **2024年12月期計画と取り組み**
- 04 | **事業のトピックス**
- 05 | **補足資料**

# 01 | 2024年12月期第1四半期決算概要

## 業績は期初想定どおりに推移、FY2024で過去最高業績を目指す

FY2023

FY2024 1Q

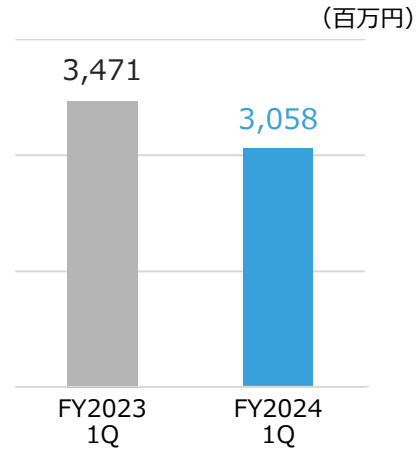
FY2025

- 01 | 前年同期比で売上高・営業利益・経常利益が減少で最終利益は増加（下期に営業利益が伸長見込）
- 02 | 1Qでスマートシティ事業の賃貸不動産を譲渡（本業へ経営資源を集中）
- 03 | 直近決算比で有利子負債42億円削減と自己資本比率10%向上
- 04 | 成長分野である搬送ロボットへの継続投資（優良顧客からの引き合いにより新規開発着手）

## 売上高

**30.6億円**

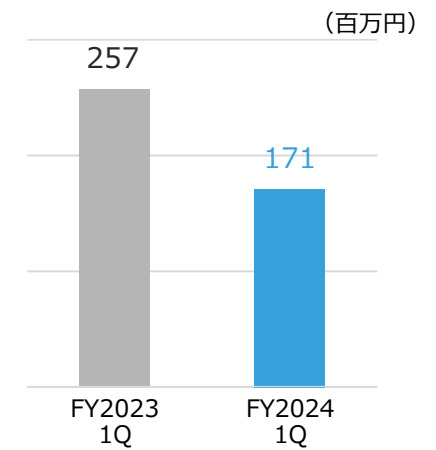
前年同期比：△11.9%



## 営業利益

**1.7億円**

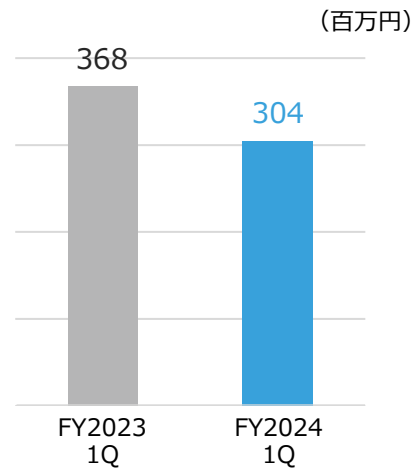
前年同期比：△33.3%



## EBITDA

**3.0億円**

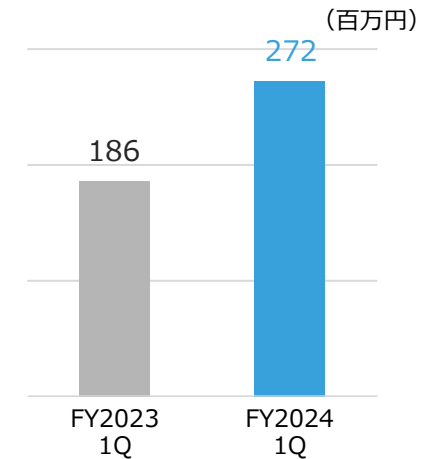
前年同期比：△17.4%



## 最終利益

**2.7億円**

前年同期比：+46.3%



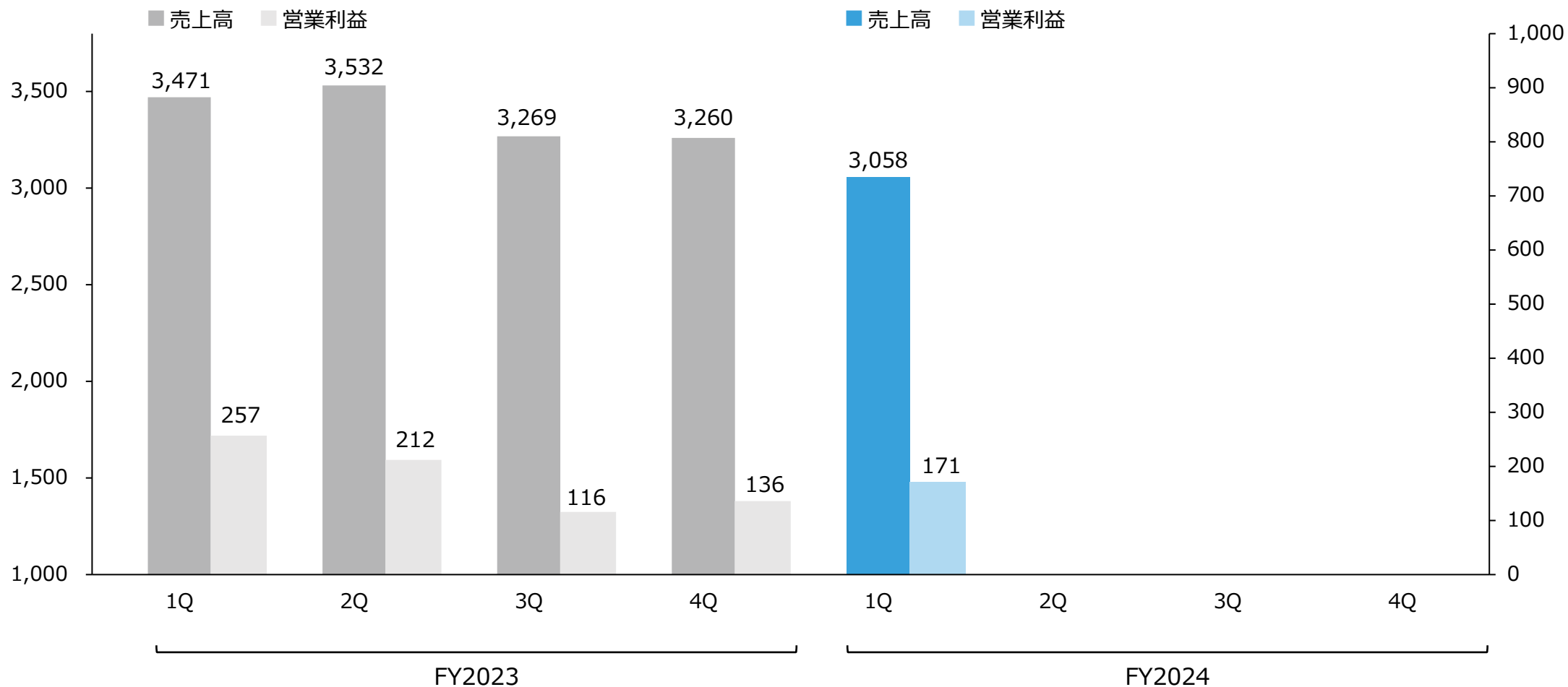
※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

※最終利益 = 親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益

# 四半期業績推移（売上高・営業利益）

売上高  
(単位：百万円)

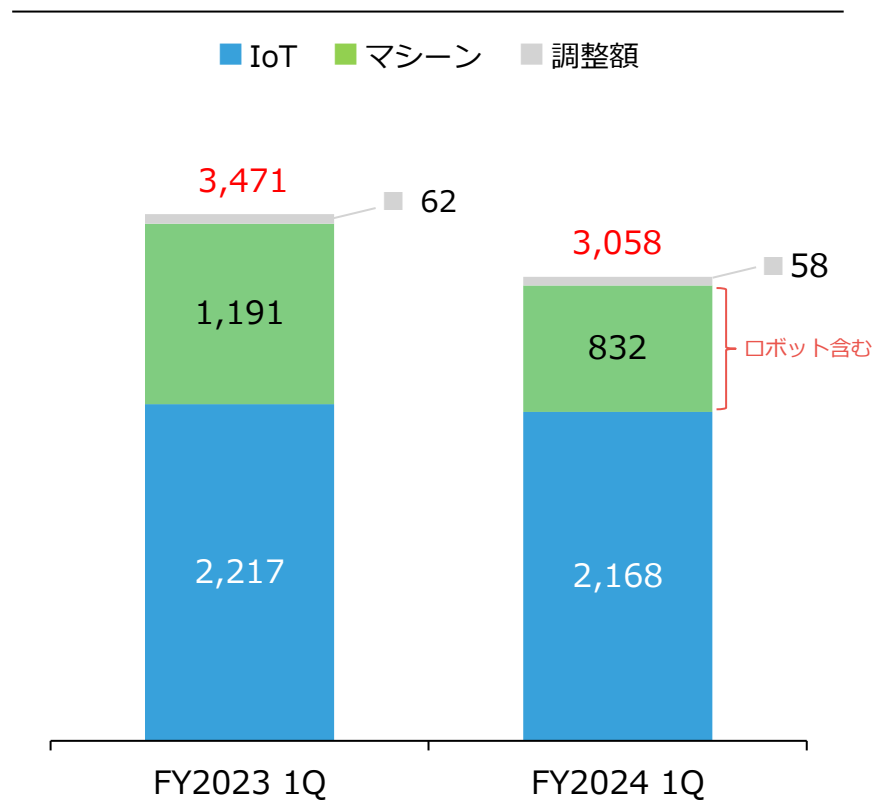
営業利益  
(単位：百万円)





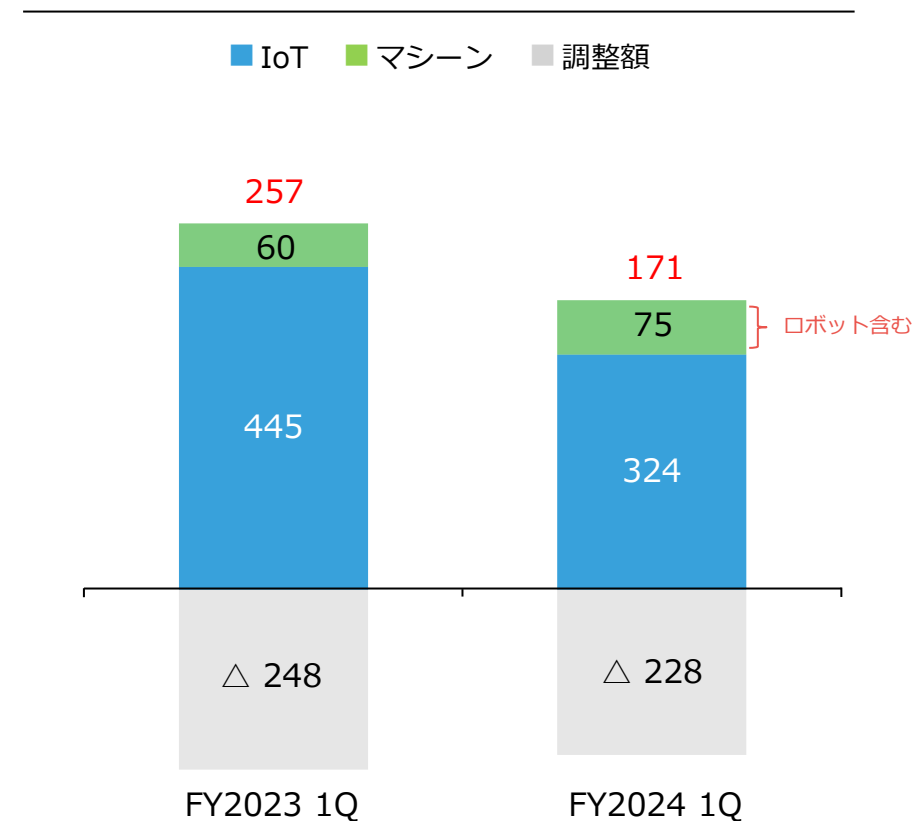
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

(単位：百万円)



※スマートシティは譲渡のため調整額に変更しております。

# 02 | 事業ポートフォリオの見直し

## スマートシティ事業のオフバランス化（ロボット事業への投資に組替）

IP無線 タクシー バス トラック ペイメント ホテル ロボット ドローン

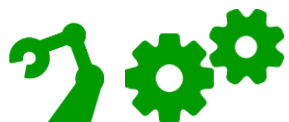
### IoT（基盤拡大+成長投資）



積極的投資とM&A推進による成長  
 基盤のIoT×SaaS事業拡大  
 ペイメント事業とロボット事業を新たな中核事業に発展（単独セグメント化を目指す）

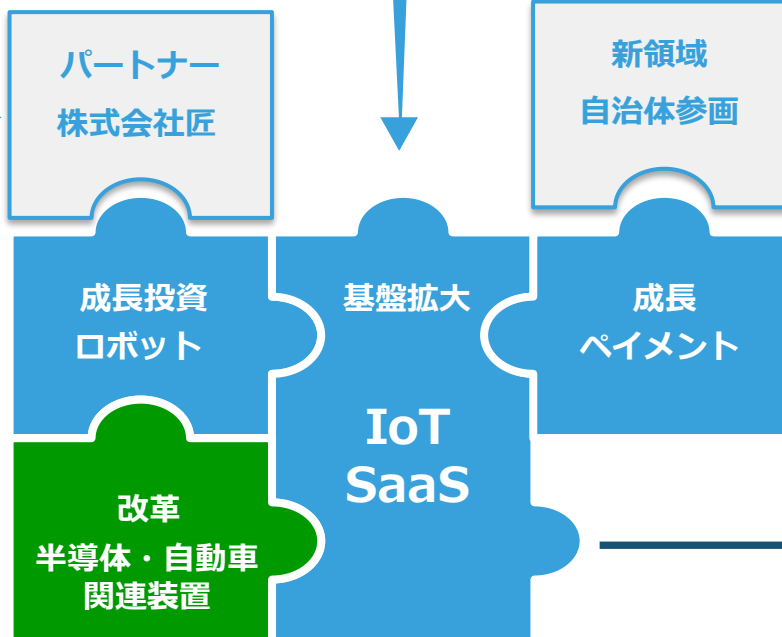
成長投資  
 ロボット

積極的な投資を実行  
 投資枠**20億円**を設定（累計投資）  
 ロボットで**50億円**の売上を目指す



マシン（改革）

付加価値の高いビジネスモデルへ改革中  
 ロボット事業に本格的参画  
 ロボットと設備連携による自動化推進



※譲渡後もスマートシティの実証実験フィールドとして活用継続  
 （ロボット配送、顔認証、民泊スマートチェックイン等）

### スマートシティ（1Qで譲渡）

次の3つの観点による事業評価により  
 企業価値に貢献する事業であるか判定

自社がベストオーナーか

資本効率と収益性

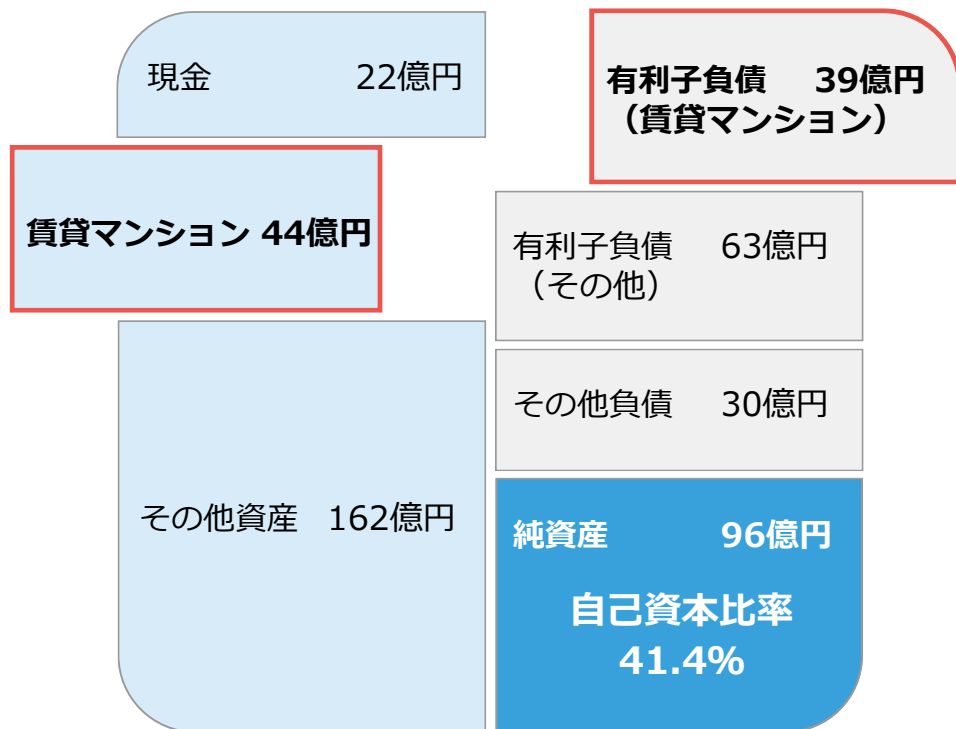
成長戦略との適合性

長期安定  
 賃貸  
 マンション

## 資産効率化と財務体質改善のため、賃貸マンション（スマートシティ）をオフバランス化

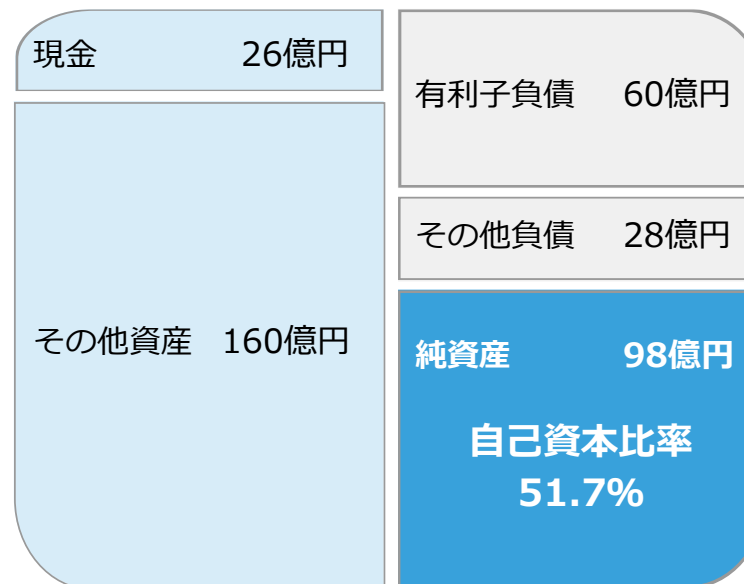
2023年12月期末

資産合計 228億円



2024年12月期1Q末

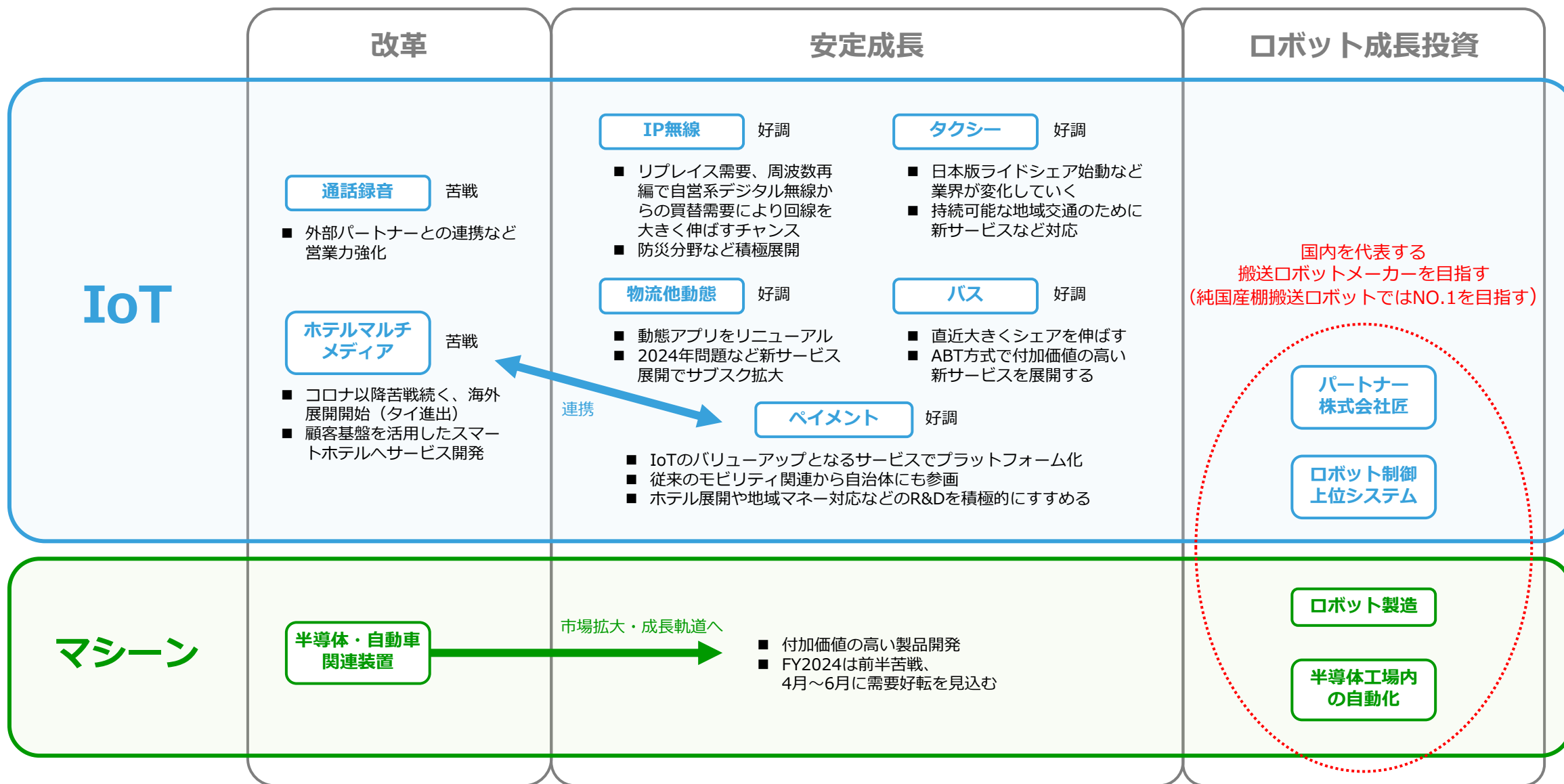
資産合計 186億円



有利子負債（前期末比42億円削減）

自己資本比率（前期末比10%向上）

- ✓ 経営資源をコア事業と成長投資に集中させ、資本・資産効率の向上に取り組んでいく
- ✓ 今回のオフバランス化で、有利子負債を削減し、成長分野への投資余力を確保する



# 03 | 2024年12月期計画と取り組み

## 次の中計に向けて持続的な成長への基盤を構築する（成長ドライバーはロボット）

FY2023

FY2024

FY2025

- 01 | 中期経営計画（FY2022-FY2024）最終年度KPIの達成
- 02 | 成長分野であるロボットへの投資（中核事業に発展させるための土台を築く）
- 03 | IP無線のシェア拡大（リプレイス需要と周波数再編で自営系デジタル無線からの買替需要）
- 04 | モビリティ分野（物流、バス、タクシー）への新サービス展開
- 05 | 前半は半導体市場の在庫調整が影響、4月～6月に需要好転を見込み、後半の見通しは良好

単位：百万円

	FY2024 1Q実績	FY2024計画			
		2Q累計		通期	
			1Q進捗率		1Q進捗率
売上高	3,058	6,800	45.0%	15,000	20.4%
営業利益	171	300	57.2%	1,123	15.3%
経常利益	171	283	60.7%	1,092	15.7%
最終利益	272	417	65.3%	1,000	27.2%

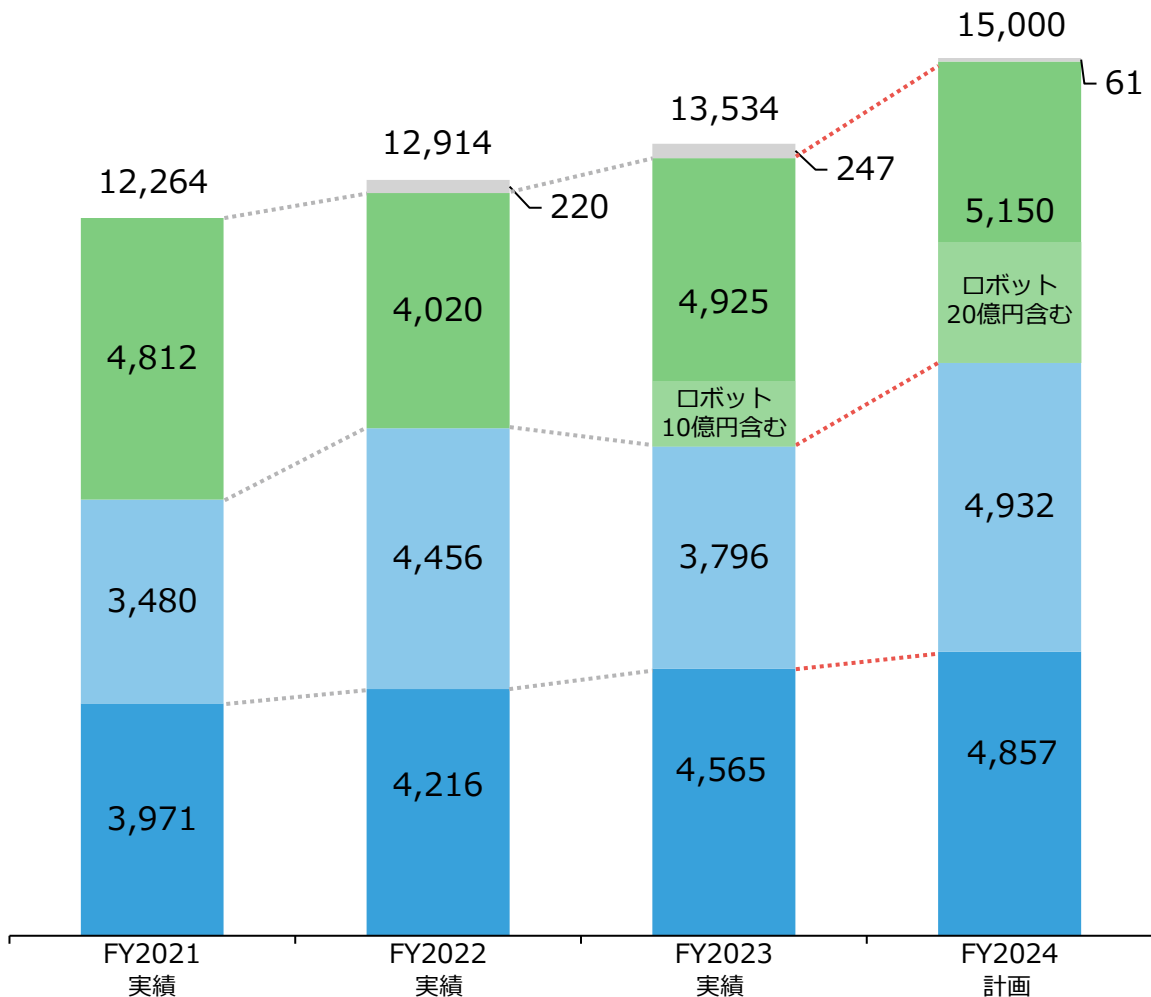
※最終利益＝親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益

- ✓ FY2024上半期は半導体市場の調整局面の影響があるものの、下半期は業績好調の見通し
- ✓ 主力のIoTはモビリティ分野が好調で、ロボットは下半期に導入を加速



# 通期業績予想（セグメント別売上高）

（単位：百万円）



※譲渡によりFY2024 1Qのみ計上

- 調整額**  
 調整額 **61百万円**
- マシーン事業**  
 マシーン **5,150百万円 (前年比+4.6%)**
- IoT事業**  
 フロービジネス **4,932百万円 (前年比+29.9%)**  
 サブスク **4,857百万円 (前年比+6.4%)**

## 収益基盤(IoT×SaaS)によるサブスク売上高

(単位：百万円)

好調：モビリティ関連（物流他・タクシー・バス・ペイメント）

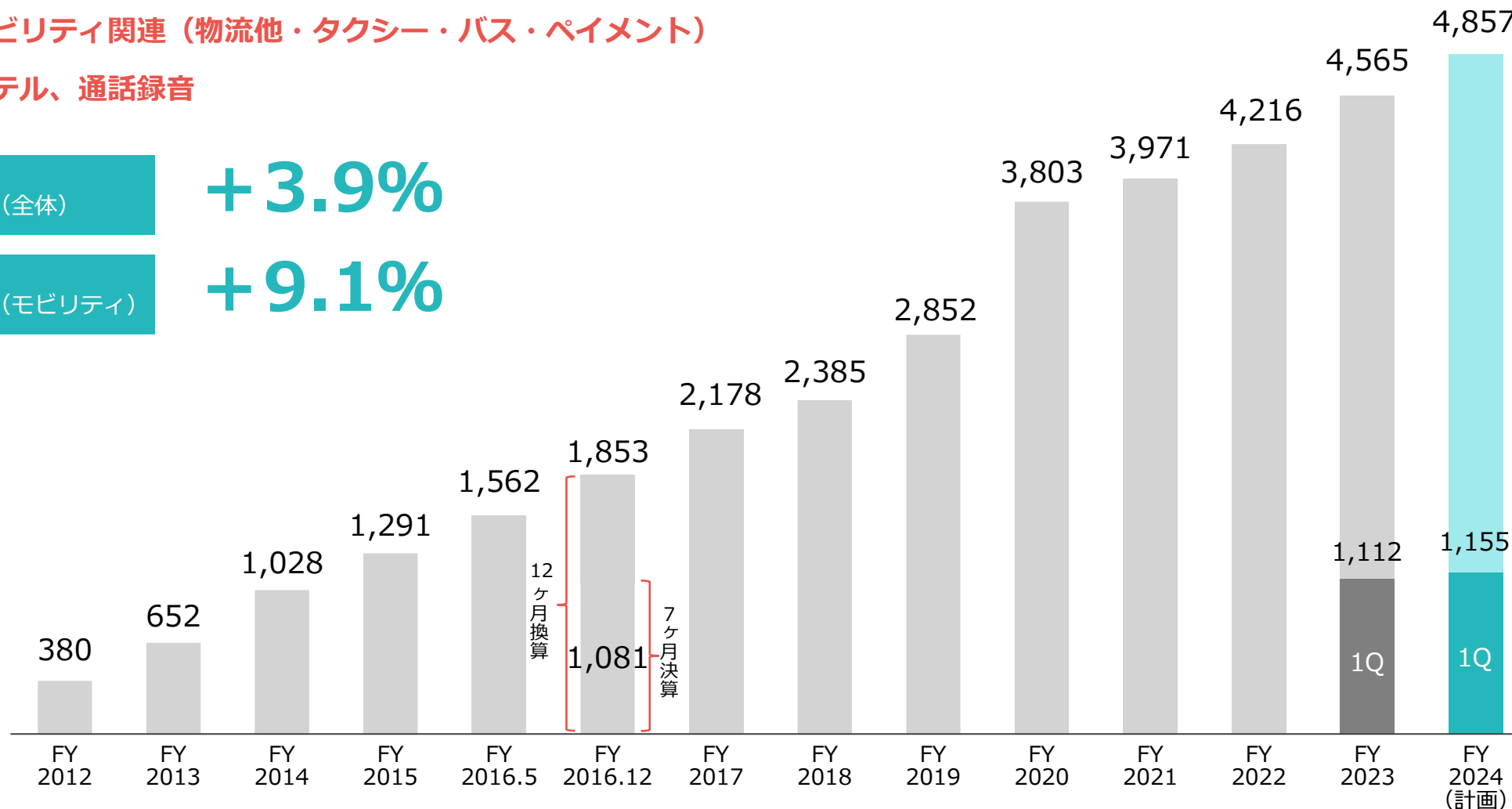
苦戦：ホテル、通話録音

YoY (全体)

+3.9%

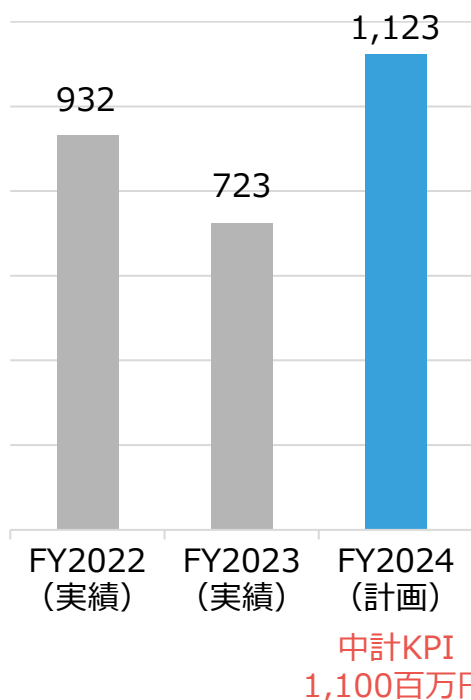
YoY (モビリティ)

+9.1%

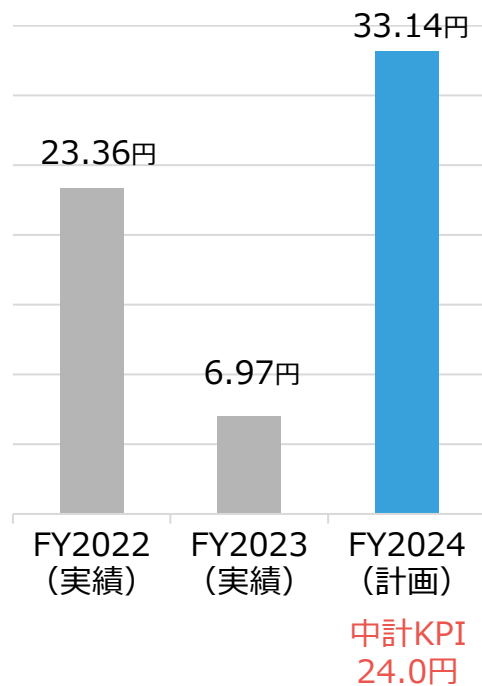


## 営業利益

(単位：百万円)

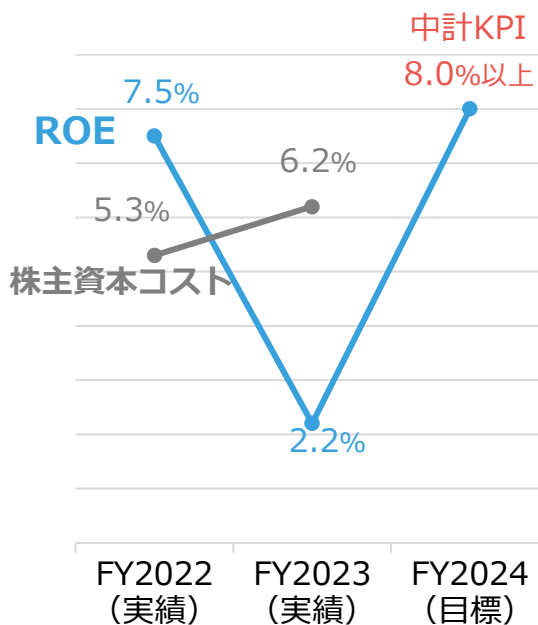


## EPS



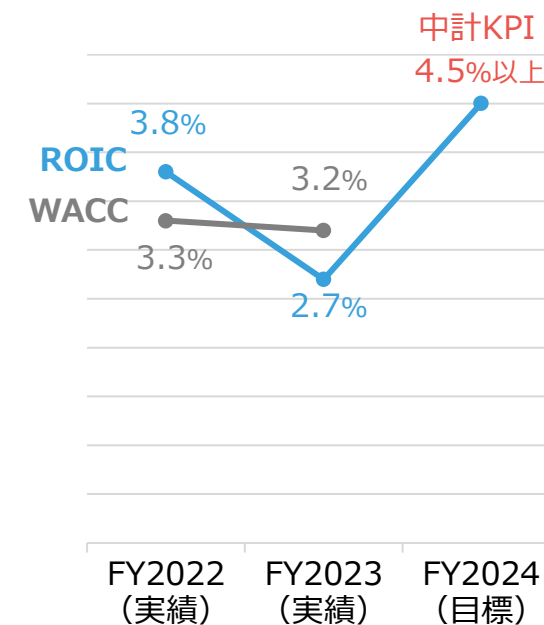
## ROE・株主資本コスト

■ ROE ■ 株主資本コスト



## ROIC・WACC

■ ROIC ■ WACC



## 現状認識

- ✓ 当社のPBRは1倍前後で推移しており、PBR向上は経営の重要課題
- ✓ 2021年12月に株主資本コストを上回るROEとWACCを上回るROICのKPIを公表
- ✓ 資本コストを上回る資本収益性と投資者から期待される成長性が重要であると認識

## 方針

- ✓ 中期経営計画（FY2022-FY2024）の最終年度KPI達成を目指す
- ✓ イノベーション創出力を高め、持続的な成長への基盤を構築する

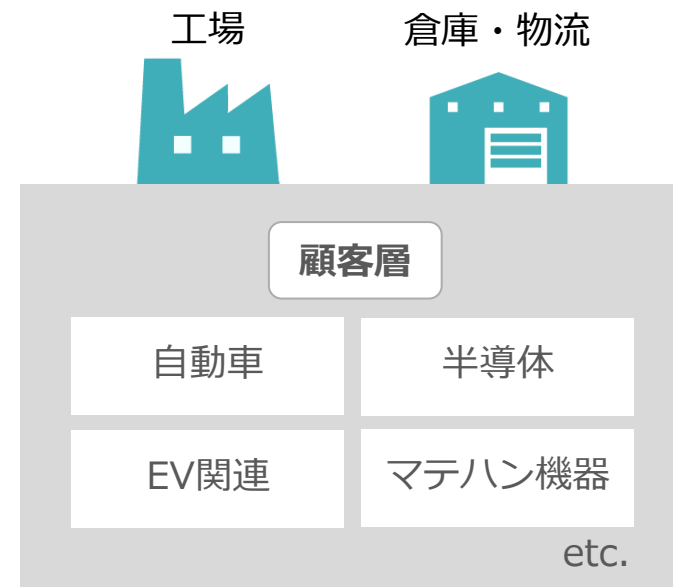
## 具体策

- ✓ 事業ポートフォリオの見直しと最適化を実施（賃貸マンション事業のオフバランス化）
- ✓ 基盤事業拡大とロボット・ペイメントへの成長投資に経営資源を集中
- ✓ 継続的な機関投資家と個人投資家への決算説明会の開催、IRフェア等にも参加検討
- ✓ IRに加え、まず知ってもらうためのPRを強化する（ホームページやSNSを活用した認知度の向上）
- ✓ 株主還元策の見直しを検討

# ロボット（国内を代表する搬送ロボットメーカーへ）



## FA・自動化向けをターゲット市場



## FY2024にロボット売上高倍増、次期中計で売上高50億円突破を目指す



サービス  
向け



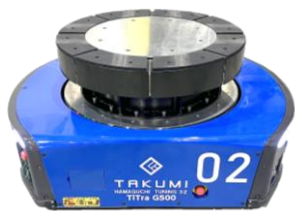
自社AMR



FA向け



他社AMR +  
マニピュレータ



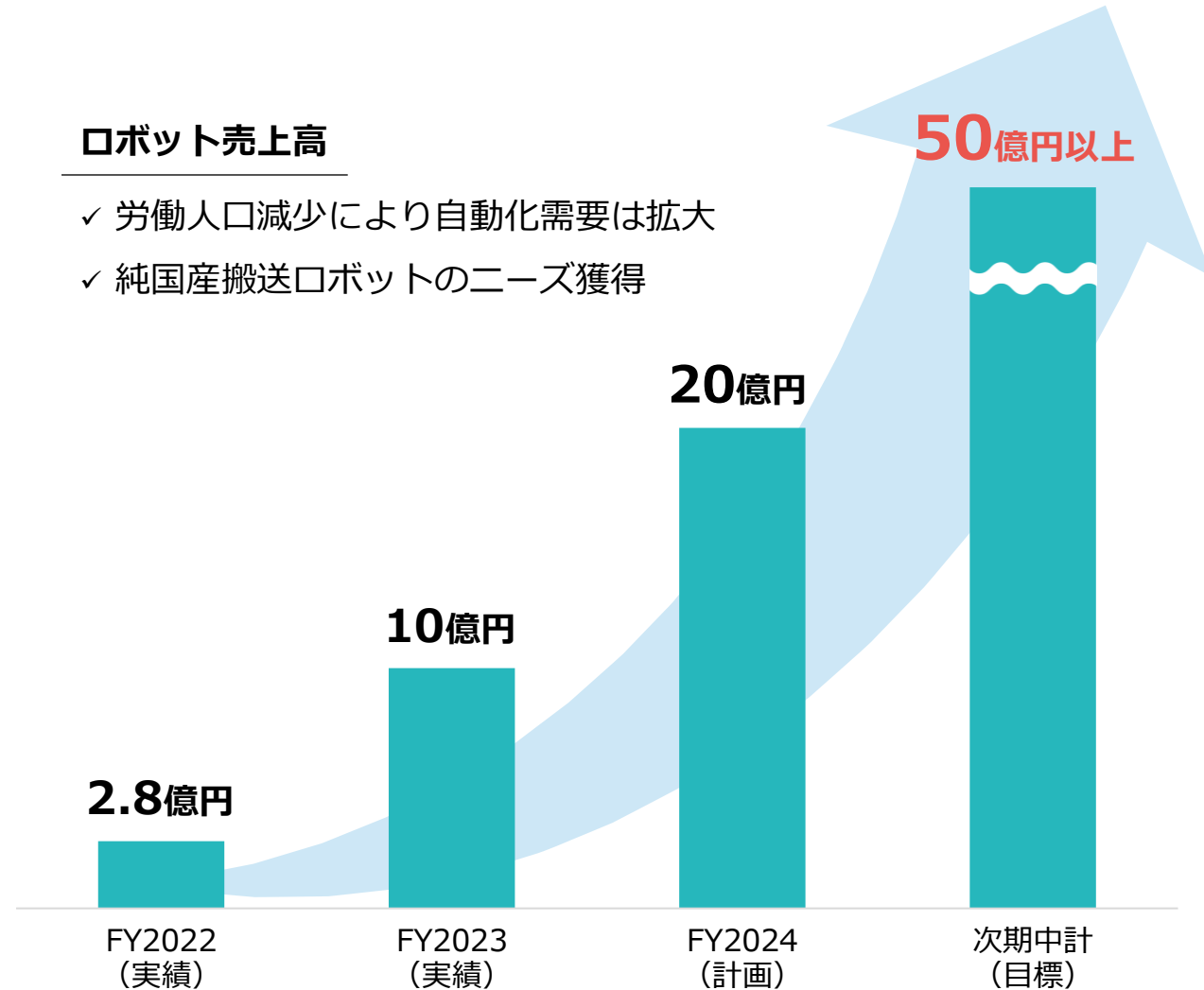
GTP型AGV  
※匠製（FIGで製造）



自社AMR  
※プロトタイプ

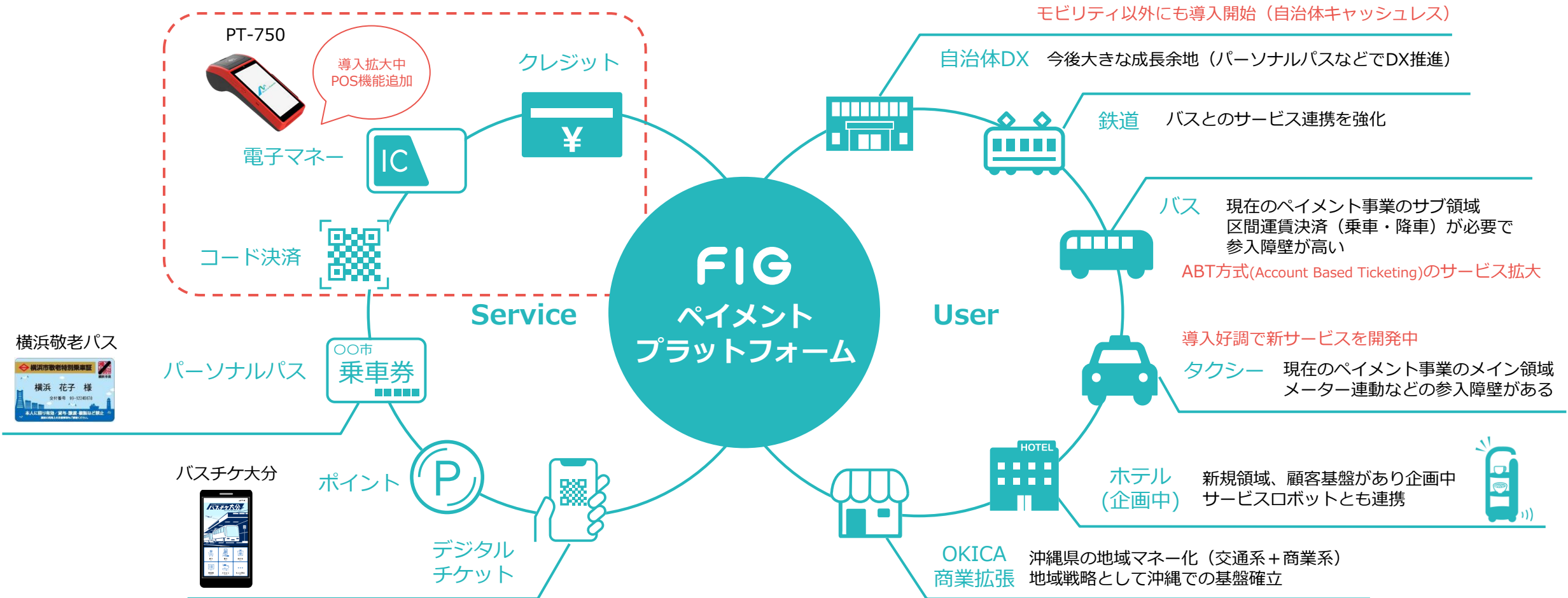
### ロボット売上高

- ✓ 労働人口減少により自動化需要は拡大
- ✓ 純国産搬送ロボットのニーズ獲得



## ペイメントプラットフォームの構築

地域MaaSやデマンド交通の社会実装を推進（地元大分の地盤や沖縄OKICA活用）



# 04 | 事業のトピックス

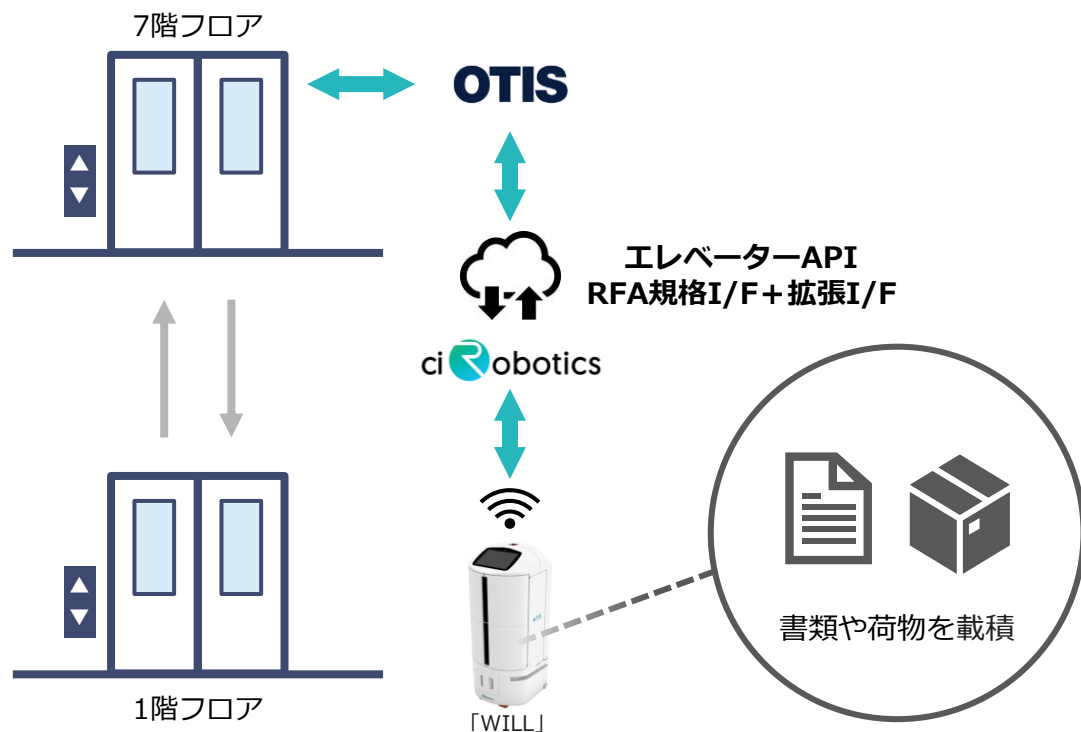


## 実証実験の概要

- ✓ 大分県の「県庁舎内におけるスマートロボット活用モデル創出事業委託業務」に応募
- ✓ 日本オチス・エレベータ株式会社と共同し、「WILL」とエレベーターをクラウド連携させる実証実験に成功



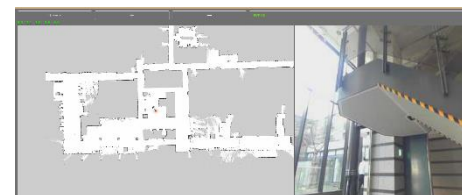
ロボットは人の手を借りずエレベーターを呼び、目的地へ移動可能（今後、商用展開へ）



## 大分県庁にて成果報告会を実施



### 今回の実証実験のポイント



①SLAM技術  
自己位置推定と環境地図作成による自動走行



②エレベーター連携  
ロボットとエレベーターの自動連携

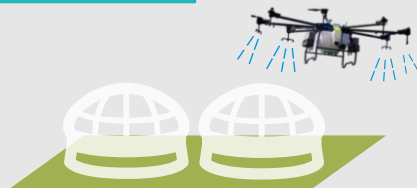
③顔認証  
顔認証による荷台ロック自動開閉

## 大型ドローン「ciDroneAG R-70」を使った農薬散布を大分県内初実施

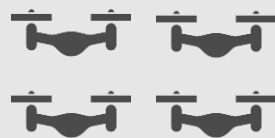
- ✓ 大分県杵築市で、国内最大級のciRobotics製70L農薬散布ドローン「ciDroneAG R-70」を使用した、麦畑への農薬散布を実施
- ✓ 当製品が大分県内において農薬散布作業に使用される初の事例
- ✓ 対象の麦畑を事前にシステムにプログラムすることで、散布中は自動操縦となり、タンクの薬剤が少なくなるとコントローラーに通知が届き、マニュアル操作に切り替えることで薬剤の補充を行う



### 実演結果



空中散布登録がとれている薬剤を使用  
**10haを約40分で散布**  
※東京ドーム約2個分の面積



従来の10L農薬散布ドローンの  
**3~4倍の効率**を実現

## ciDroneAG R-70

ciRobotics



70Lのタンク容量と最大15mの散布幅で大規模農場におけるドローン散布の時短を実現。  
短時間で大量散布が可能のため、空中散布登録のない薬剤の散布にも活用が期待される。

## 「DiDi」に続き、**New!!** 「Uber」の配車アプリをワンタブレット化へ

複数アプリのワンタブレット化で  
ドライバーの業務効率改善と操作性・安全性の向上へ



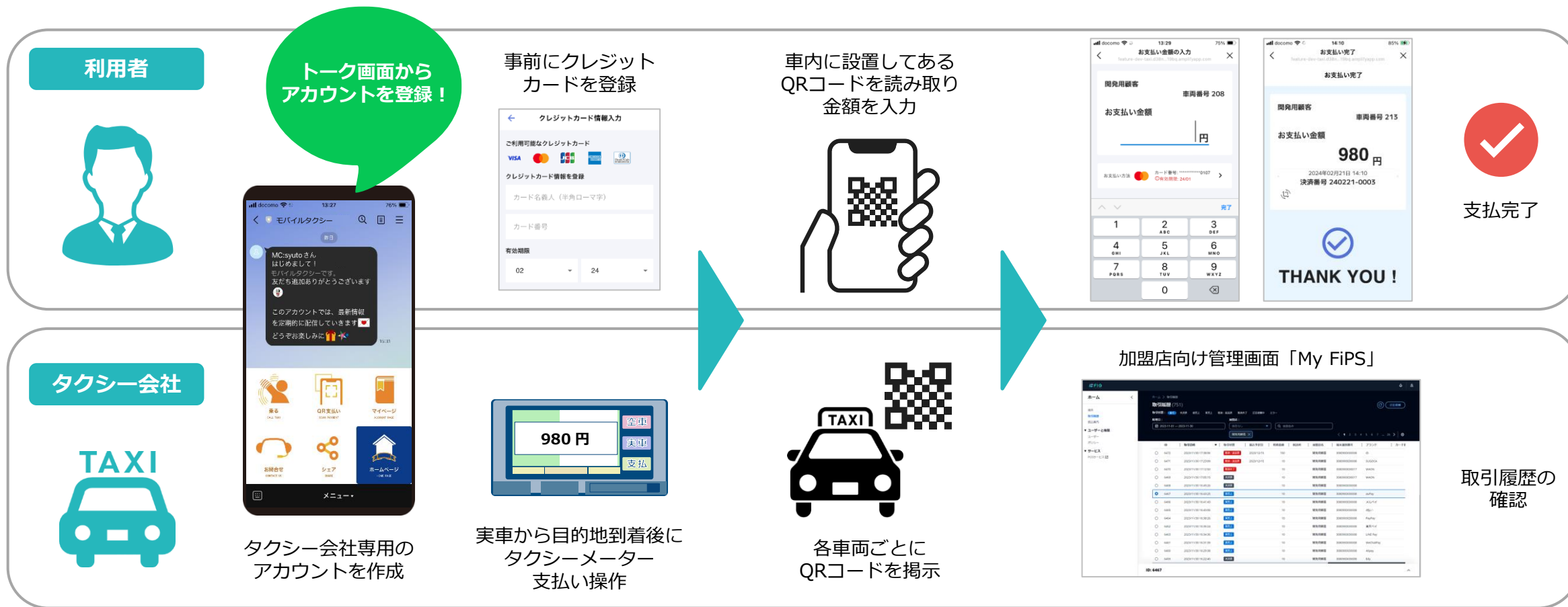
# Uber



※2023年11月より順次提供開始済

## LINEで乗車から決済まで完結するタクシーマシンレス決済を導入

✓ タクシー車両側に掲示されたQRコード（加盟店や車両情報）をカメラで読み取ることで事前登録した決済手段（クレジットカード）で乗車運賃の支払いを行い、決済端末などの車載機器を導入せずにマシンレスでキャッシュレスサービスを提供





## バス向けモバイルチケット 新サービス「バスともAPU」が運用開始

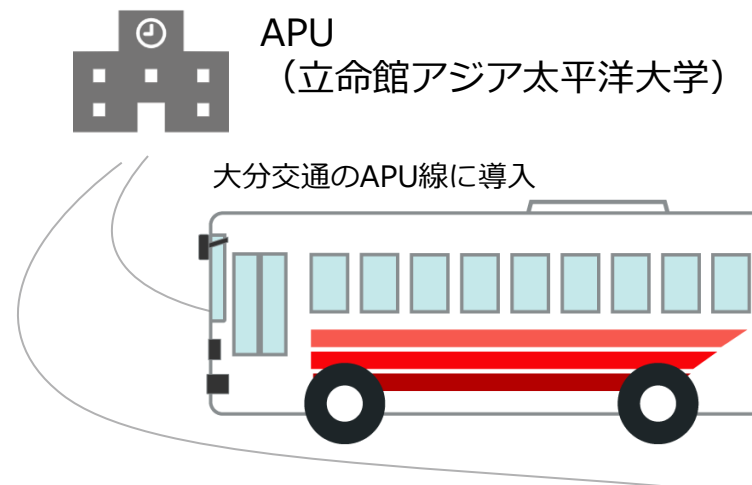
- ✓ LINEアプリで友だち登録し、トーク画面からチケットの購入・利用が可能
- ✓ センター集約型のAccount Based Ticketing (ABT) 方式を採用
- ✓ LINEからWEBクレジットカード決済にて購入したチケット情報をクラウドサーバで管理 (オンラインでチケット消費判定)



- 大分県別府市内を運行する路線バス向け
- 2024年2月運用開始



- 大分空港と大分市・別府市を結ぶ空港リムジンバス向け
- 2022年3月運用開始

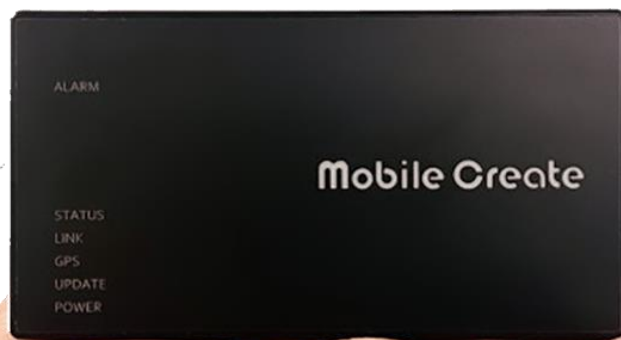


## 自治体のゴミ収集車約200台へ導入し、ゴミ収集車運行管理システムに採用

- ✓ GPS端末「IM-830」を家庭用ゴミ収集車へ取付
- ✓ ゴミ収集車運行管理システムに「IM-830」動態情報をAPI連携



**ZENRIN  
DataCom**

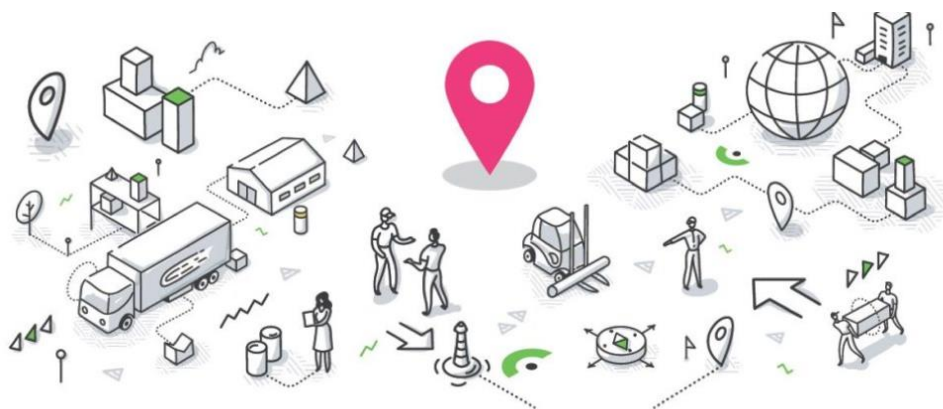


### 位置情報管理に特化したGPS端末 IM-830

- ✓ シガーソケット、USBポートにさすだけで利用スタート
- ✓ 高精度なリアルタイム位置情報表示
- ✓ 走行速度など走行データを記憶し、安全運行管理に活用
- ✓ 専用ソフトインストールや地図の更新不要
- ✓ 外部システムとのAPI連携に対応

## GPS端末「IM-830」を用いたシステム開発及びアイデアを学生から募集するITコンテストを開催

- ✓ 大分県内の学生を対象に、モバイルクリエイイトが開発したGPS端末「IM-830」を使ったシステム開発とアイデアを競う大会で、FIGが主催する初の取り組み
- ✓ 大分県に住む人々への企業知名度向上と優秀な人材の探索と確保を目的に開催



高校生の部・アイデア部門

**最優秀賞**



トラックに「IM-830」を取り付けることで走行距離や加速度を測り、CO2排出量を見える化

オープンの部・アイデア部門

**最優秀賞**



ゴミ収集に「IM-830」を取り付け、収集車の接近情報をLINEアプリで通知

オープンの部・開発部門

**最優秀賞**



物流トラックに「IM-830」を取り付け、荷物の配送状況をリアルタイムで管理

# 05 | 補足資料



# セグメント別業績（四半期推移）

単位：百万円

売上高	2023年12月期					2024年12月期					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	3,471	3,532	3,269	3,260	13,534	3,058				3,058	△412	△11.9%
IoT	2,217	2,120	1,939	2,083	8,361	2,168				2,168	△49	△2.2%
マシーン	1,191	1,350	1,268	1,114	4,925	832				832	△359	△30.2%
調整額	62	61	61	62	247	58				58	△4	△6.5%

営業利益	2023年12月期					2024年12月期					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	257	212	116	136	723	171				171	△85	△33.3%
IoT	445	217	226	291	1,181	324				324	△120	△27.1%
マシーン	60	225	124	123	534	75				75	+15	25.3%
調整額	△248	△229	△235	△278	△992	△228				△228	+20	-

※スマートシティは譲渡のため調整額に変更しております。

単位：百万円

	2023年12月期末		2024年12月期 1 Q			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	補足
流動資産	15,215	66.6%	12,387	66.3%	△2,828	リース投資資産 △2,652 受取手形、売掛金及び契約資産 △471 棚卸資産 △122
うち現預金	2,203	9.6%	2,657	14.2%	+453	
固定資産	7,620	33.4%	6,304	33.7%	△1,315	建物及び構築物 △830 土地 △990 投資有価証券 +530
資産合計	22,835	100%	18,691	100%	△4,143	
流動負債	6,645	29.1%	6,046	32.4%	△598	支払手形及び買掛金 △364 短期借入金 △498 未払消費税等 +211
固定負債	6,595	28.9%	2,833	15.2%	△3,762	長期借入金 △3,707
負債合計	13,240	58.0%	8,880	47.5%	△4,360	
純資産合計	9,595	42.0%	9,811	52.5%	+216	
負債・純資産合計	22,835	100%	18,691	100%	△4,143	

## 経営理念

# 想像と技術と情熱で快適な未来を創造

## Vision

### 笑顔になれる企業グループ

- 優秀な人財が集い、成長と自己実現を両立し、ワクワクとした仕事ができるグループ
- お客様に新しい価値を提供し「ありがとう」と言われる企業グループ
- 健全で適正な利益を生み、社員とその家族を幸せにし、そして株主にも満足してもらえるグループ

## FIGグループのValue

- ベンチャー精神を忘れず、現状維持には満足しない
- リスクのないところにチャンスはない、情熱を持ってチャレンジを続ける
- 慈愛の精神を忘れず、相手の事を考えるのを忘れてはならない
- 行動は正しくなければならない
- 知能だけでなくセンスが大事、行動し経験を積むことで養われる
- 物事を俯瞰して見る、角度を変えれば見え方も変わってくる
- 正しく伝えることは難しく、伝える力が財産になる
- コミュニケーションを大切にし、グループ会社とその組織は横断型でなくてはならない
- スピード自体が大きな価値になる
- どうやれば出来るか、諦めるのは最後の選択



## ESG・SDGsの視点を取り入れた事業戦略でサステナブル経営を目指す



### Environment

#### ITで地球環境負荷低減へ貢献

- 自社の製品・サービスによる環境負荷低減
- 事業活動で排出される廃棄物削減、資源化率の向上、自然エネルギーの利用
- 有害物質使用削減への取り組み
- 地域環境の保全



### Social

#### グループの技術で快適な未来を創造

- Society5.0の社会を支える技術・サービスの提供（ドローン・ロボット）
- 持続可能な地域交通に貢献する（バス・タクシー）
- キャッシュレス化社会の実現に貢献する
- MaaSの普及に貢献する
- 防災・減災・安全に貢献する
- スマートホテルを実現する技術の追求
- はたらきやすさ（健康増進・ダイバーシティ推進）を提供する



### Governance





#### 経営基盤を強固にするためのガバナンスの強化

- コーポレート・ガバナンスの徹底
- 社外役員の登用
- 役員報酬額の決定方法
- コンプライアンスの順守・研修の実施
- 反社会的勢力排除への対応
- 情報セキュリティの強化

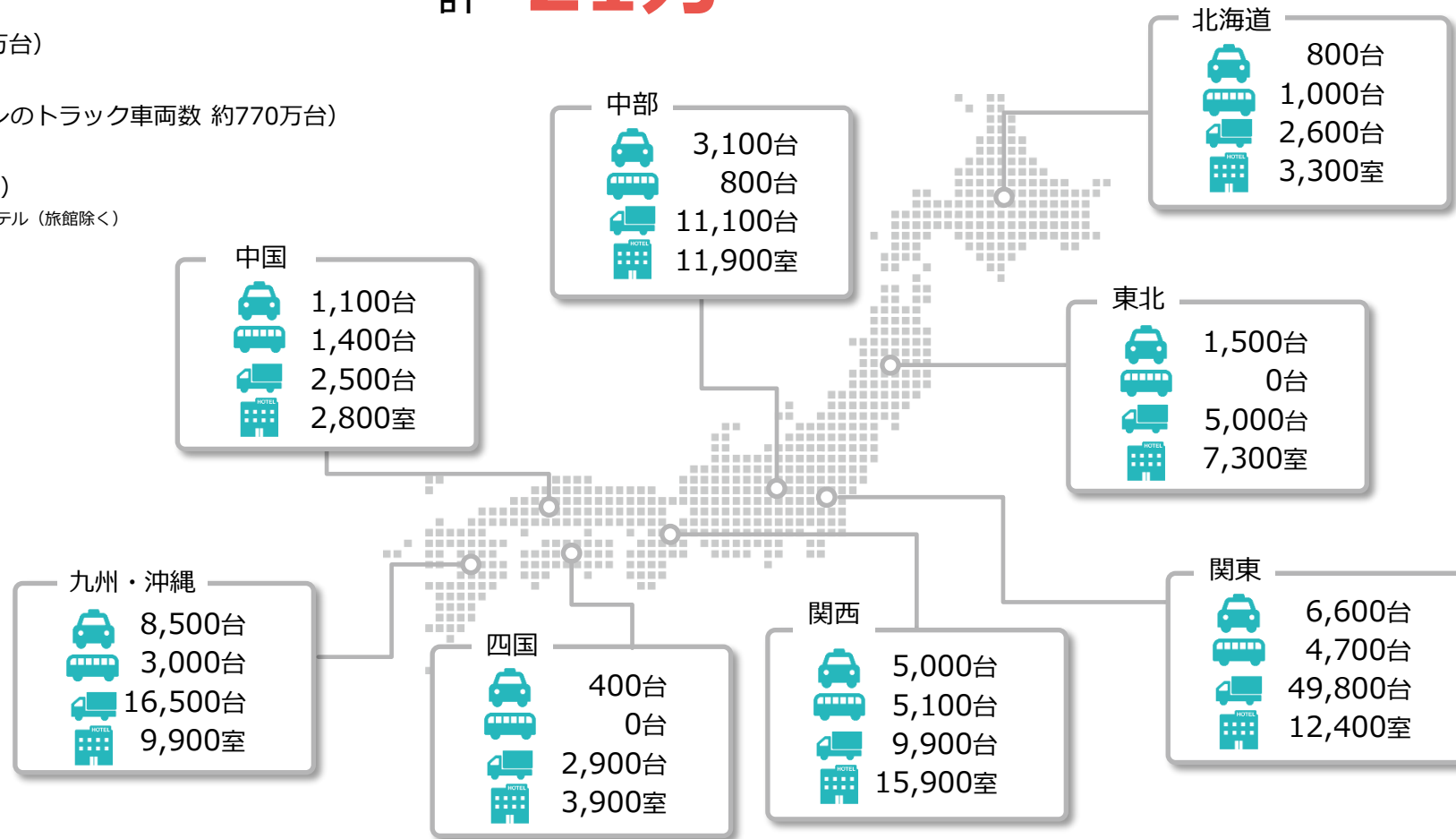


## 顧客基盤（月額サービス契約数）

2023年12月時点

-  タクシー 約27,000台  
(シェア13%、タクシー車両数 約20万台)
-  バス 約16,000台  
(シェア28%、乗合バス車両数 約5.7万台)
-  物流他 約100,300台  
(IP無線車載タイプシェアNo.1、メインのトラック車両数 約770万台)
-  ホテル 約67,400室  
(シェア6%、ホテル客室数 約115万室)  
ホテル：ビジネスホテル、シティホテル、リゾートホテル（旅館除く）

計 **21万**





- 【 連絡先 】 F I G株式会社 経営企画本部
- 【 住所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
- 【 T E L 】 097 - 576 - 8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。